

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	保健福祉部		
	課名	健康増進センター		
	係名	健康増進係		
	記入者		電話(内線)	32-7890

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	新規	(2) 事務事業 の名称	健康マイレージの導入	(3) 事業の 優先度	B
(4) 総合計画での位置づけ		(6) 事業主体		市	
① 事業の区分	主要事業	(7) 予算・ 財源等 の種別		事業の性質 一般事業費(ソフト事業)	
② 施策コード	11101 (総合計画掲載ページ 49 ページ)	会計区分		一般会計	
基本目標(政策)	1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)	財源区分		市単独	
基本施策	1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実(健康・医療)	予算科目		款 4 項 1 目 4	
施策	①健康づくりの推進	予算書上の 事業名称		(予算書 ページ に掲載)	
施策内容	1健康づくり活動の推進	(8) 事務分類		自治事務	
(5) 事業期間	開始 29 年 4 月から 終了 年 月まで (カ年)	根拠法令			

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象 (だれに対して・何に対して行うのか)	市民	(3) めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)	市民が自主的に健康づくりに取り組み健康で生きいきとした生活を送ることができる。
(2) 手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)	市民の健康づくりを促進するため、日々の運動や食事などの生活改善や、健康診断の受診、健康講座や健康づくりイベント等に参加することで、健康ポイントを付与し特典を受けられる仕組みを導入する。	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	平成26年6月議会で、健康ポイント制度を導入し市民の健康づくりを後押しすべきとの要望があった。

(5) 事業をとりまく環境の変化 (社会環境, 市民ニーズ等) や市民・議会の要望, 意見等とそれに対する対応
 小山市では、市民の健康づくり、地域交流、社会貢献に関する事業を通じて、毎日の生活を健康で豊かなものとなるよう、平成27年6月1日に「開運おやま 健康マイレージ」事業をスタートさせている。

3. 事業コスト

行政評価 実施計画	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映
● 予算内訳	実績額 (千円)	当初予算額 (千円)	計画額・見込額 (千円)
事業内容	27 年度	28 年度	29 年度 30 年度 31 年度
(1) 事務事業費の コスト	事業費		
	報償費		
	需用費		
	役務費		
	合計		
	財源		
	国庫支出金 (千円)		
県支出金 (千円)			
地方債 (千円)			
その他特定財源 (千円)			
一般財源 (千円)			
合計 (千円)			
補助・起債制度名			

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	健康マイレージ交換品目	目標値			6	8	10
		実績(見込)値					
指標名	健康マイレージ登録者数	目標値			300	400	500
		実績(見込)値					
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	健康マイレージ還元者(達成者数)	目標値		0	300	400	500
		実績(見込)値	0	0	200	300	450
		達成率	0.0 %	0.0 %			
指標名	がん検診受診率	目標値		22	24	26	30
		実績(見込)値	20	22	24	26	30
		達成率	65.7 %	73.3 %			

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	市民の健康づくりを後押しできる。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	行政が市民の健康づくりを支援すべきであり、他市町村でもすでに実施している。
	手段の妥当性	A	妥当である	身近でなじみやすい。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	効果がすぐに見えるものではない。
公平性	受益者の偏り	B	どちらとも言えない	健康マイレージの申込者のみになってしまう。
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	市民に普及すれば成果は上がる。
進捗度	事業の進捗			

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	予定どおり要求	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	予定どおり要求	市民の健康意識を高め、健診受診率の向上を目指すための事業として推進していく。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり。